

名越 義明さん（岡山県新見市出身）
2016年度3次隊 青年海外協力隊
派遣国：ジャマイカ 職種：行政サービス
2018年7月8日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

役所の業務効率化に力

私は今、カリブ海にある島国ジャマイカに住んでいる。世界選手権や五輪の陸上100㌠、200㌠で多くの金メダルを獲得したボルト。またボブ・マーリーに代表されるレゲエ音楽…。この国にどのようなイメージをお持ちだろうか。

私はジャマイカ国内に14ある自治地区の一つウエストモアランド県の、日本でいう役所に、業務効率化を推進するという目的で派遣された。同県と私の勤務する鳥取県は2016年に姉妹県提携しており、国際協力機構(JICA)の自治体連携制度を活用した。



魚やタマネギなどで作ったフリッターを手にする同僚

配属先の同僚と過ごす日々は、日本では当たり前のことがそうではない。習慣や言葉、考えを学ぶこと、発見がたくさんある。彼らが理想とする発展が具体化するように、日々彼らと対話し、活動している。

派遣された当初は、慣れない地で体調を崩すこともあったが、同僚が月曜と金曜に、家庭で作ってきて有料で振る舞ってくれる食事に元気を頂いている。

定番のフリッターと呼ばれる料理は、日干しにした魚やタマネギなどを小麦粉とこんがり揚げたもの。脂っこいものの香ばしく、食べ応えがある。ナショナルフルーツのアキーと魚の日干しを、トマトなどと一緒に調理した料理などが出てくこともある。ジャマイカの日差し、風、においや味を文面で伝えられないのが非常に残念だ。

毎日同僚たちからたくさんの元気をもらっている。私も彼らに元気を分けてあげられるよう頑張りたい。